全学自由研究ゼミナール 教養としての芸術学〜理論と実践から芸術を学ぶ 接続テストと授業ガイダンス (説明会)

● 授業の概要

講読や創作体験を通して、座学と実践の両面から芸術を学ぶ授業です。2020 年度 S2 タームでは演劇と音楽を対象に、作品や理論を参照しながら実際に創作を行うワークショップを行います。これらを通して芸術に触れ、自分なりに表現してみることを目指します。実施にあたり第一線で活躍する学外のゲスト講師からの協力を得て開講します。

音楽や演劇の実技経験は不問ですので、興味はあるけれどもこれまで機会がなかったという人や、異なる物の見方や自分を表現する新しい回路を探している人も歓迎します。受講者には授業外でも準備に取り組み、芸術に多く触れる積極性を期待します。

本授業は元々実習を含む授業ではありますが、それも含めてオンラインで実施することになりました。 このような時期だからこそ、その場に人々が集まることのない状況での表現について考えてみる機会と します。

● 方法

講義や資料講読、ワークショップによる表現・創作体験を行います。いずれの場合も個人作業、あるいは (オンラインでうまくいけば)チームワークで進めます。

● 授業計画

6月からのS2ターム、火・金開講の**週2回**授業。2単位。

オンライン化を受けて、演劇と音楽の順序を一部変更する予定です。

回・日程	内容
第1回 (6/5)	ガイダンスや自己紹介など
第2回(6/9)、第3回(6/12)	演劇 1、2
第4回(6/16)、第5回(6/19)	音楽 1、2
第6回(6/23)、第7回(6/26)、第8回(6/30)、第9回(7/3)	演劇 3、4、5、6
第10回(7/7)、第11回(7/10)、第12回(7/14)、第13回(7/17)	音楽 3、4、5、6

● 学習目標

- ⇒ 芸術を理論と実践の両面から体験する
- ⇒ 芸術を論じるための多角的な視点を得る。

● ゲスト講師紹介

西尾 佳織(にしお かおり 劇作家、演出家、鳥公園主宰)



劇作家、演出家、鳥公園主宰。幼少期をマレーシアで過ごす。東大表象文化論卒業、東京芸大芸術環境創造科修了。2007年に鳥公園を結成以来、全作品の脚本・演出を担当。「正しさ」から外れながらも確かに存在するものたちに、少しトボけた角度から、柔らかな光を当てようと試みている。2018年より、マレーシアのダンサー・振付家の Lee Ren Xinと、からゆきさんのリサーチプロジェクトを進めている。

演劇テーマ:「リサーチから作品をつくる」

人はなぜフィクションを必要とするのでしょう? 私たちは日常的に、身の周りにあふれる「オハナシ」を楽しんでいますが、その生成過程についてじっくり考えたことはありますか? この授業では、参加者各自の興味に従って、実在する人、もの、事をリサーチすることから作品をつくります。それは多かれ少なかれ、自分のものの見方で他者を切り取り、解釈して、ある形を与えてしまう行為です。他者をフィクション化することの権力性や暴力性と向き合いながら、創作を通して、自分と他者の〈あいだ〉にもぐっていってみましょう。

野口 桃江(のぐち ももこ アーティスト)



桐朋学園大学音楽学部 作曲理論学科卒業。蘭デン・ハーグ王立音楽院 ArtScience 学科修士課程修了。現代音楽をベースに、光、映像、生体情報を扱った作品や即興パフォーマンスを日欧各地で発表している。エンジニア、ダンサー、映像作家との共同作品も数多く手がける。近作に、EV をアート化するプロジェクト「SENSORIAL DRIVE-ヒトと車の共感覚-」、演奏者の鼓動をピアノと接続する「SYNESTHETIC PIANO」など。

音楽テーマ:「共感覚的ワークショップ/「遊び」をとおして作品をつくる。」

日常からこぼれ落ちてしまう、微かな感覚に耳を澄ますことからはじめ、多感覚/共感覚的ワークや、オンライン上での即興セッションを段階的に行っていきます。また、多様なジャンルからなる芸術作品とその理論、手法、美学的背景について紹介しながら、今この瞬間に生まれる「オンラインにおける芸術表現」についても、遊びをとおして探求します。後半では、個人もしくはグループに分かれ、小作品の制作を行う予定です

キーワード:現代音楽,実験音楽,電子音響,サウンドアート,民族音楽,古楽,メディアアート,電子工作,DTM,映像編集,図形楽譜,アルゴリズミック・コンポジション,ノイズの美学,天球の音楽,アポロとディオニュソス

* 4月10日現在、人々が広く社会的距離を保つことを強いられる状況が続いていますが、この期間を、内に広がる豊か さに目を向け、創造性をブーストする好機と転じてみるというのはいかがでしょう? このワークショップが何かのきっ かけになればと願っています。(野口)

● 参考文献、ウェブサイト その他授業中に適宜紹介する。必要なものはコピーを配布する。

太田省吾『プロセス 太田省吾演劇論集』 而立書房、2006年

木村敏『あいだ』 ちくま学芸文庫、2005年

北村紗衣『共感覚から見えるもの -アートと科学を彩る五感の世界』 勉誠出版、2016 年 マリー・シェーファー『世界の調律 サウンドスケープとはなにか』鳥越けい子他訳 平凡社、2006 年 Peter Weibel ed. *Sound Art: Sound as a Medium of Art.* The MIT Press, 2019.

授業に関連するウェブサイト

教養学部附属教養教育高度化機構社会連携部門 http://www.sr.komex.c.u-tokyo.ac.jp/index.html 鳥公園 https://www.bird-park.com/

Momoko Noguchi Website https://momokonoguchi.com/

● 単位認定方法

授業参加、発表、2つのミニレポート(提出必須)から総合的に合否判定を判断する。やむを得ぬ事情で 欠席が続く場合は別途課題を出すので、相談してください。

● 注意事項

- 音楽や演劇の実技経験は不要です
- 授業の内容は進捗状況、理解度に応じて変更することがあります
- 授業外で作業が発生することがあります
- 授業や発表の記録撮影を行うことがあるので、希望しない者は事前アンケートで申し出てください

● 運営担当教員の連絡先と連絡方法

岡本 佳子(おかもと よしこ) 教養教育高度化機構社会連携部門

E-mail: <u>v.okamoto@komex.c.u-tokyo.ac.jp</u> 授業連絡にはSlack を用いる予定です。

● 初回授業予告

日程:6月5日(金)2限(10時25分~12時10分) ガイダンス、自己紹介、リサーチ方法 等**事前準備**:

履修登録のうえ事前にアンケート (https://forms.gle/XeFZ6xtUXDTr3yTs5) に記入し提出してください。いただいたメールアドレス宛に Slack への招待を送ります。

オンラインでも様々なアーティストが作品を発表していますので(随時 Slack でも紹介予定)それらを 閲覧してみましょう。また初回でも紹介しますが、次ページを参考にしながら学内ネットワークを用い てデータベース等にアクセスし、ただ「ググる」だけ以上のデスクリサーチ方法を身につけておいてくだ さい。

授業に役立つデスクリサーチの方法

~構内に入れなくても大丈夫。学内ネットワークにアクセスして調べ物をしよう!

● 学外から学内への有料データベースを使う

SSL-VPN Gateway サービス UTokyo Account でサインイン

https://gateway.itc.u-tokyo.ac.jp/dana-na/auth/url_default/welcome.cgi

- --何ができるのか??
- ・東京大学附属図書館が契約している有料のデータベースサービスを一部利用することができます (有料のデータベースには、事典・辞書や電子書籍、電子ジャーナル検索や閲覧など様々あります)

● 有料サービスを使って本を検索する・読む(ほんの一例です)

Maruzen eBook Library

(利用可能なサービス>データベース・電子ジャーナル一覧にあるリンクから)

学術書籍の電子配信サービス。全文へのアクセスは「購読契約しているタイトルから検索」等からアクセスしてください。東京大学での購読契約一覧では、2,847冊を読むことができるとあります。

JapanKnowledge Lib

(利用可能なサービス>データベース・電子ジャーナル一覧にあるリンクから)

「国内の百科事典・辞事典を中心に構築された、日本最大の知識データベース」です。事典・辞書類はも ちろん、東洋文庫や文庫クセジュ、各種雑誌などの全文閲覧などができます。

E-journal & E-book Portal

(利用可能なサービス>冒頭 1 行目にリンクあり)

上記の2データベースも含めた、東京大学で利用できる電子ジャーナル・電子ブック(タイトルのみ)を横断検索できます。検索のみや無料電子ブック閲覧の場合は認証しなくても使用可能です。

http://vs2ga4mg9g.search.serialssolutions.com/

● 注意事項

- ・Gateway サービスを利用して得られた情報や PDF を第三者に譲渡することは厳禁です(出版社等との契約違反、著作権法違反に問われることになります)。
- ・PDF を一括して大量にダウンロードすることは、出版社の利用規約等で禁止されています。大学全体の契約が停止されてしまう恐れもあります。
- •同時アクセスでの利用人数は 100 人に制限されています。各サービスでさらに人数制限があるものもあります。
- ・利用が終わったら必ずログアウトしてください